



2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

2022年2月10日

ログリー株式会社（証券コード：6579）

MISSION

イノベーションで 世界中の人々にワクワクを

私たちは既存市場の課題を捉え、テクノロジーを活用することで解決し、世界中の人々がワクワクできるプロダクトを生み出していきます。

1. エグゼクティブ・サマリー
2. FY2022第3四半期決算 業績ハイライト
3. 成長戦略及び取り組み事項
4. 新規事業の取り組み状況

1. エグゼクティブサマリー

FY2022 3Q 決算サマリー

売上高

通期業績予想進捗(修正後)

2,027 百万円 **76.5** %

前年同期累計比 $\Delta 36.2\%$

営業利益

通期業績予想進捗(修正後)

Δ **23** 百万円 **-** %

前年同期累計比 $-$ %

親会社株主に帰属する 当期純利益

通期業績予想進捗(修正後)

Δ **574** 百万円 **-** %

前年同期累計比 $-$ %

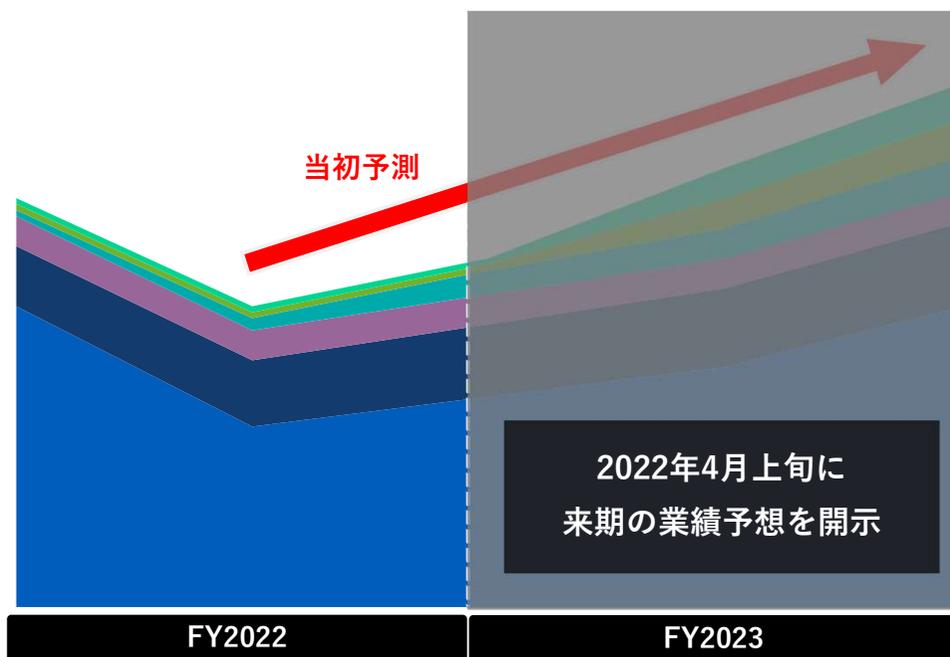
FY2022 3Q 業績ハイライト

- LOGLY グループは業績予想未達。FY2022の業績予想を下方修正
- moto株式会社（以下、moto社）は営業利益の急激な低下により減損。取締役COO 池永彰文は業績悪化の責任を受け辞任。moto社のM&A買収責任者として、投資額7億円の回収にmoto社の代表取締役としてフルコミットする
- moto社の投資資金回収計画を策定し、投資回収に努める
- 主力事業 LOGLY liftは予想に届かず、抜本的な回復計画の策定を決定

LOGLY lift は回復傾向だが、当初予測よりも緩やか

主力事業 LOGLY lift の回復が当初予測より緩やか
来期の業績予想を通年より早めに計画し、開示する予定

■ uP. ■ Adictor ■ OPTIO ■ Juicer ■ moto ■ LOGLY lift



FY2022当初予想と修正後予想との差

主力事業 LOGLY lift は当初の売上予想未達
moto社は当初の売上高、営業利益ともに
予想を大幅に未達

単位：百万円	FY2022 当初予想	FY2022 修正後予想	増減額	増減率
売上高	3,092	2,651	- 440	-14.2%
営業利益	191	△ 45	- 236	-
経常利益	186	△ 47	- 234	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	113	△ 598	- 711	-

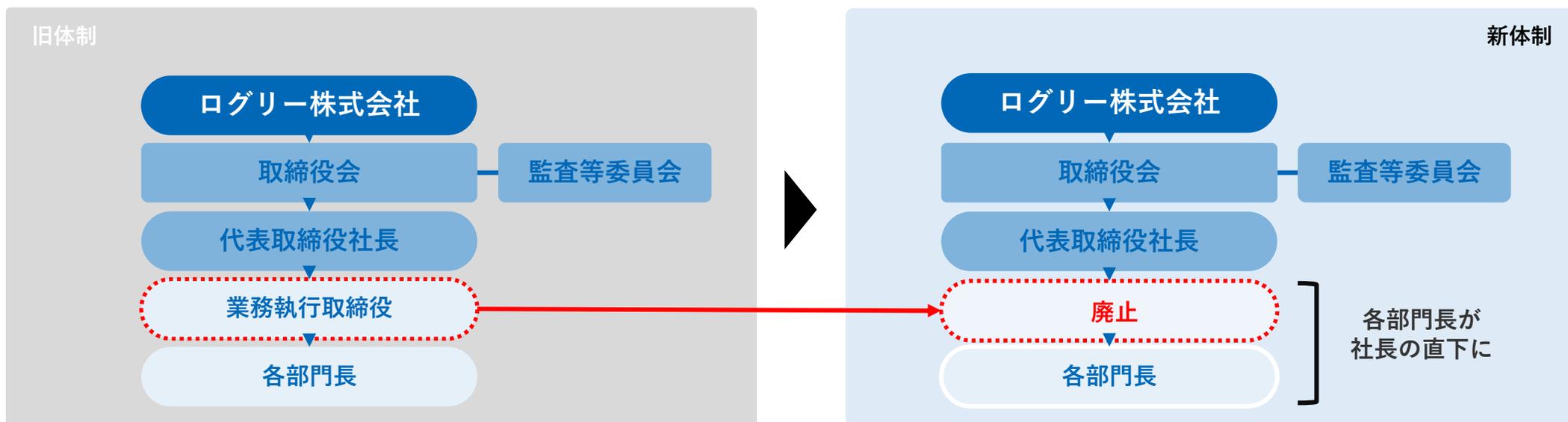
moto社の減損に対する回収体制



moto社の減損に対する対応

- ログリー株式会社 COO 兼 moto社 COOとして業績悪化および減損の事実を重く受け止め、ログリー株式会社 COO 池永 彰文は引責辞任（ログリーの役員及び一切の業務から退く）
- moto社に投資した資金7億円の回収のため、戸塚 俊介、池永 彰文の両名がmoto社の代表取締役（2名体制）となり、責任をもって回収業務に努めることとする

ログリー株式会社 ガバナンス体制の変更について



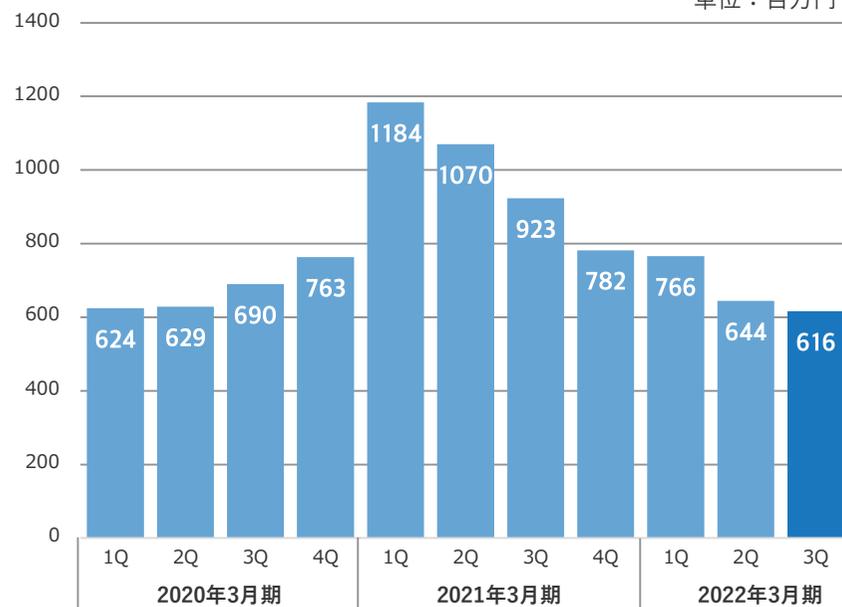
- ガバナンス体制を変更。部門長の直属を、業務執行取締役から代表取締役社長とする
- 取締役COOの退任を機に、今後は社長が陣頭指揮をとる。各部門長が社長の元、一丸となり業績回復に全力を尽くす体制とする

2. FY2022第3四半期決算 業績ハイライト

売上高は緩やかに回復傾向、 一方売上総利益と営業利益はそれを上回る回復傾向で推移

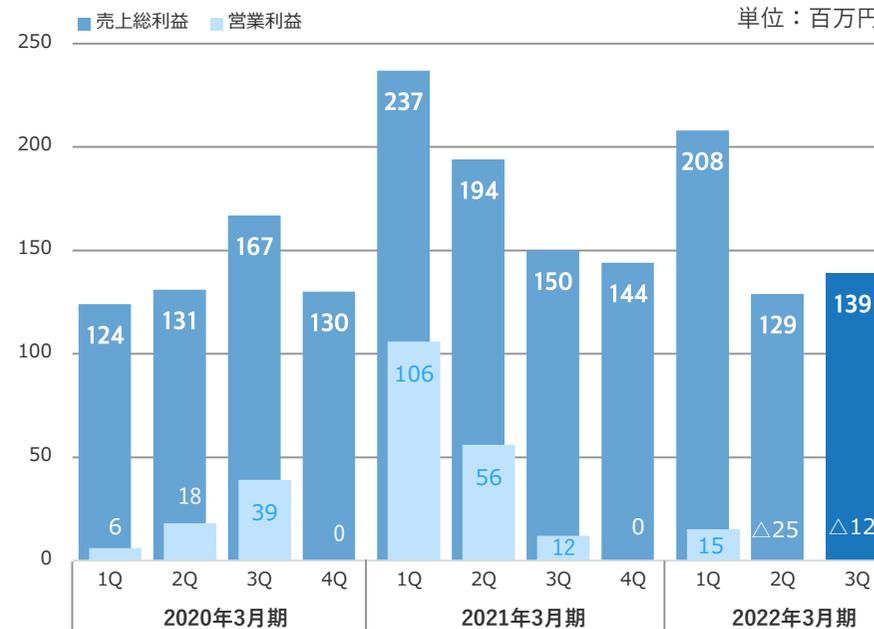
売上高

単位：百万円



売上総利益・営業利益

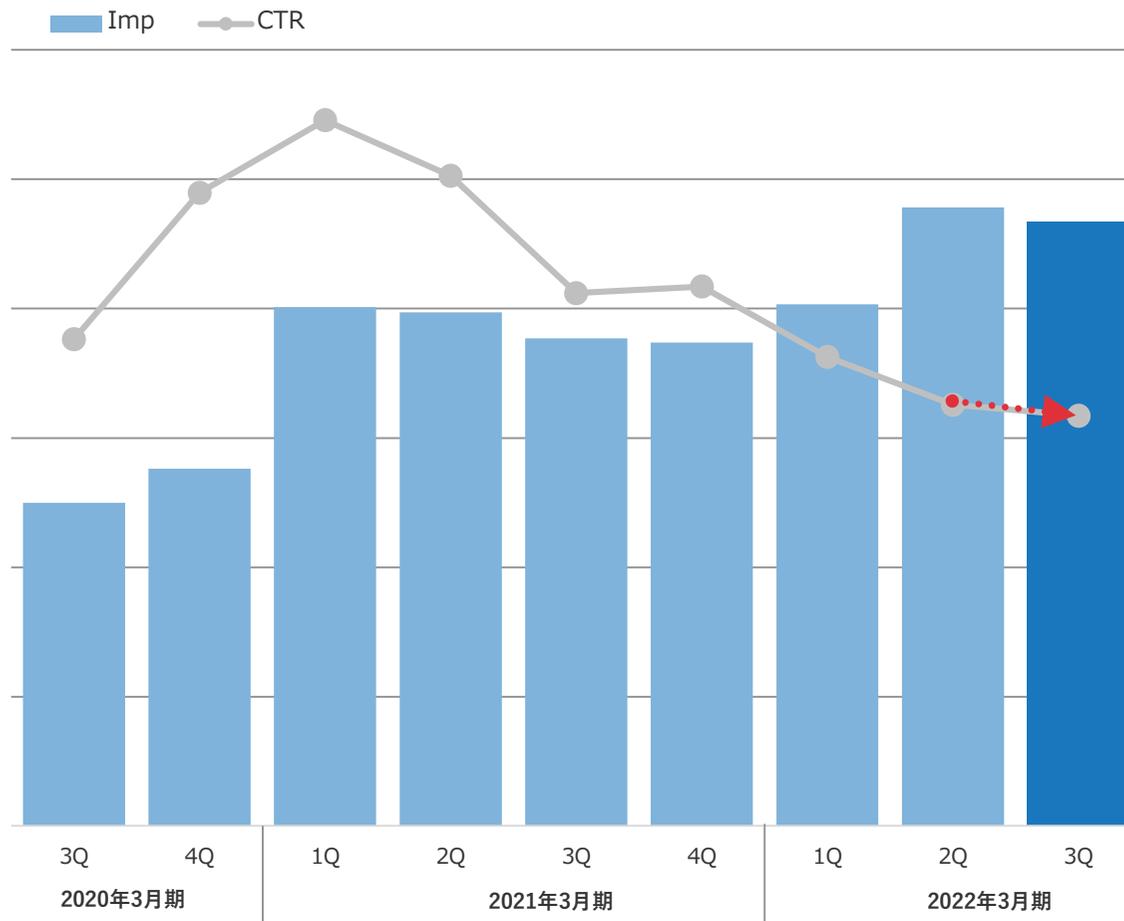
単位：百万円



- LOGLY lift の売上高は緩やかに回復傾向
- moto社の売上高・営業利益が急速に悪化したため、3Qで業績予想未達。業績の下方修正に踏み切る

インプレッション数・CTR (クリック率)、ともに横ばい

インプレッション数・CTR



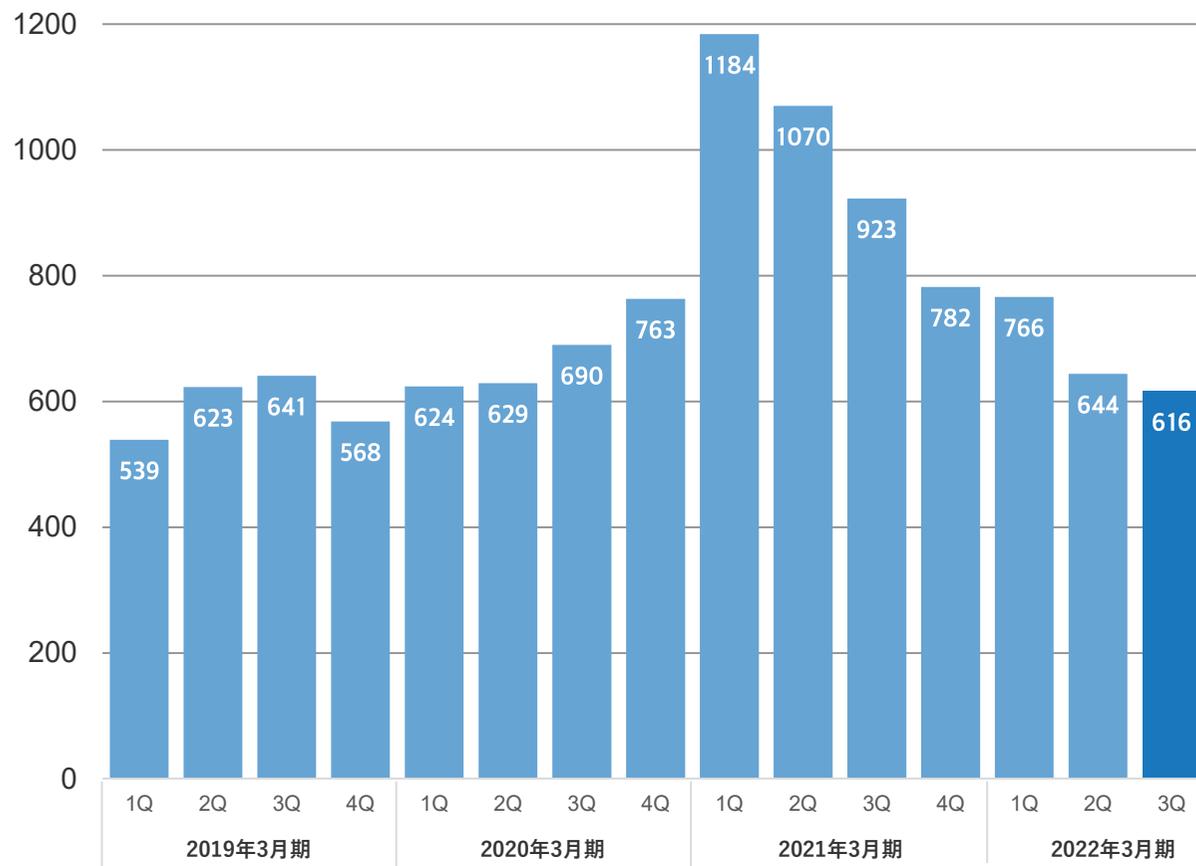
インプレッション：impression 広告の表示回数 CTR：Click Through Rate 広告表示回数あたりのクリック回数の割合

- インプレッション数・CTRは2Qから横ばい
- 広告ポートフォリオ戦略による多角化は順調。インプレッション数の伸びは維持しているが、CTRが進捗せず売上高の再成長を妨げる要因となる

広告ポートフォリオ戦略は順調 業績は回復傾向

売上高

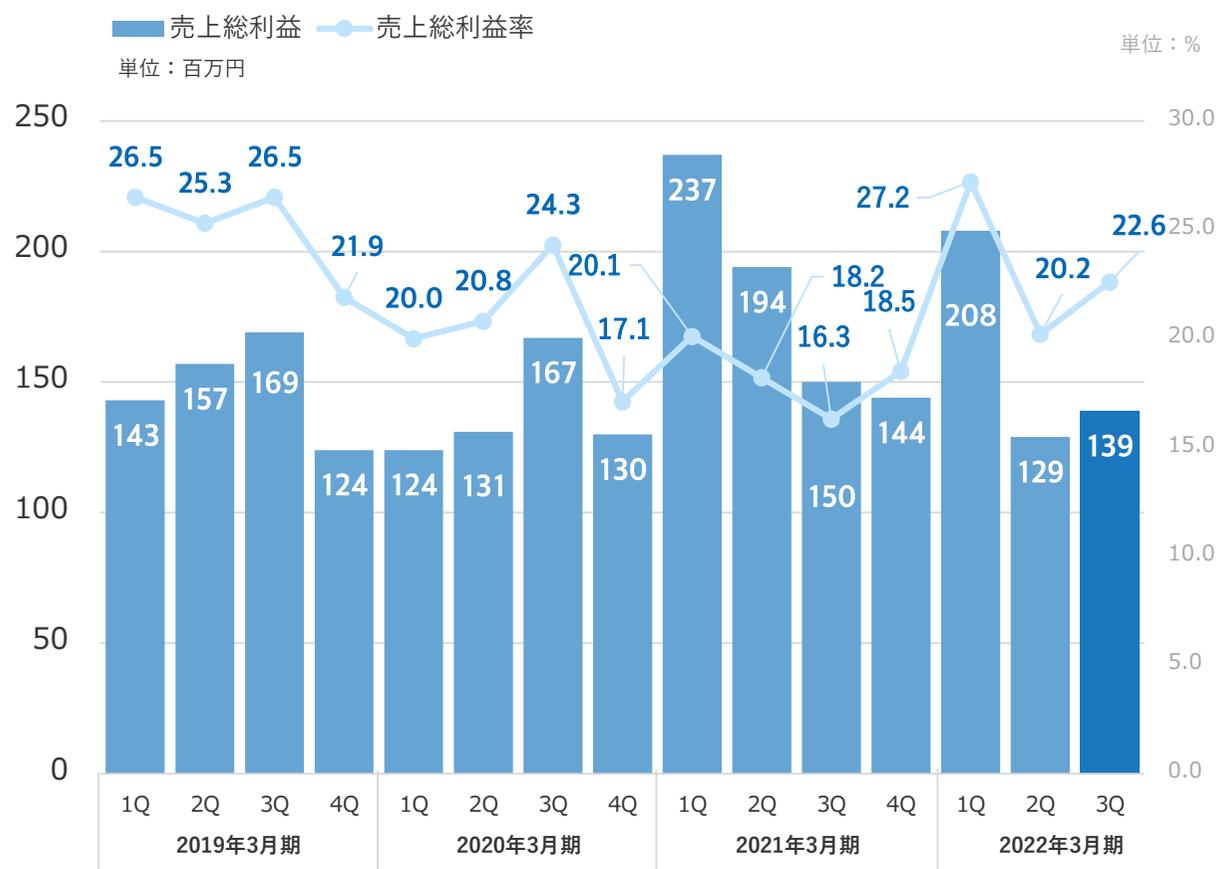
単位：百万円



- 売上高の下方傾向は抑制され緩やかに回復傾向へと転換。広告ポートフォリオ戦略も順調に多様な広告素材・膨大な広告枠を確保。下期から来期にかけての再成長戦略への下地作りが完了
- 薬機法対策（広告クリーン化対策）を完了し、業績に対する下振れリスクを払拭

売上総利益率は回復傾向

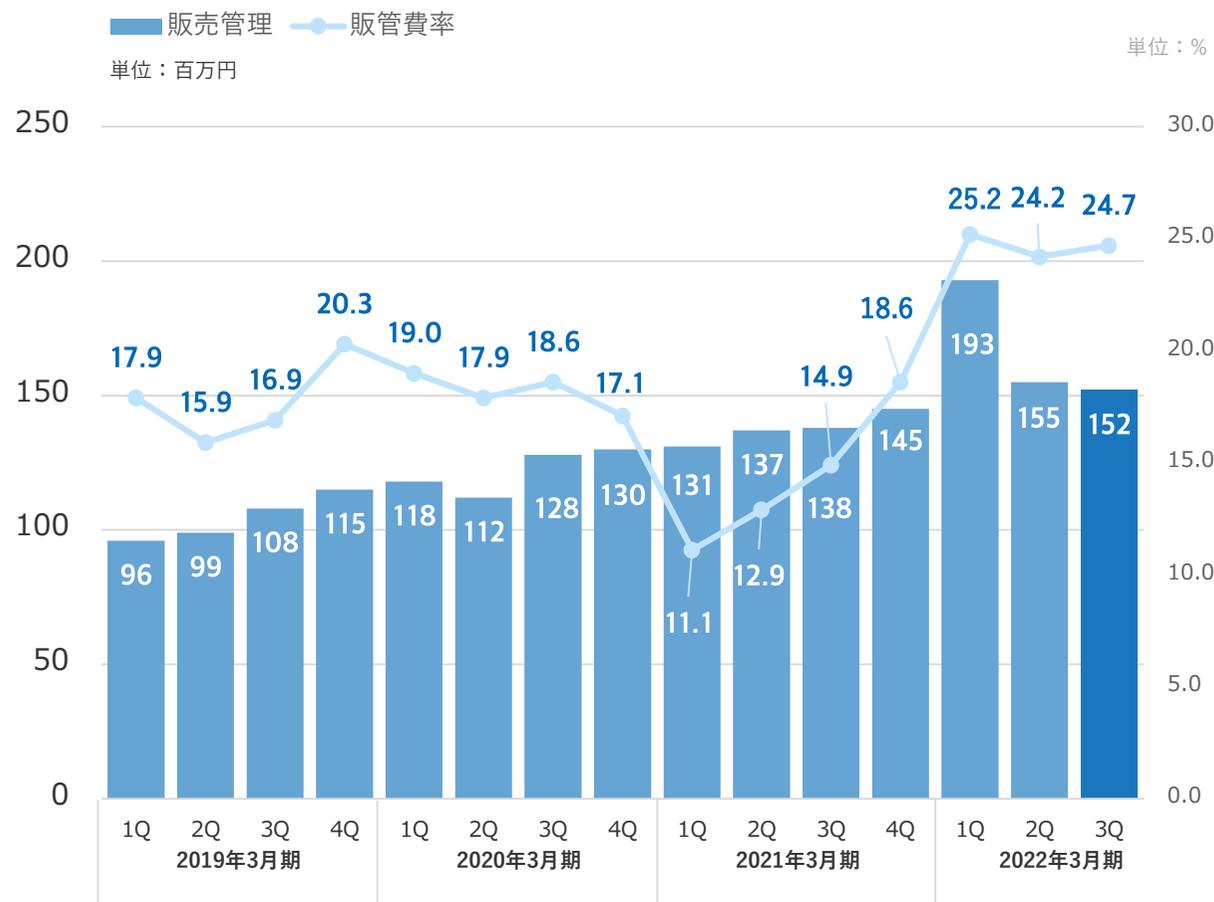
売上総利益



- 売上総利益、売上総利益率は回復傾向
- LOGLY lift の海外売上高は、引き続き好調。売上総利益に貢献
(OEM提供のため、媒体仕入は発生せず)
- moto社の売上高が失速したが、LOGLY lift の広告運用によって売上総利益率を確保したため、全体の売上総利益は回復傾向へと持ち直す

前Qに引き続き、販売管理費率は横ばい

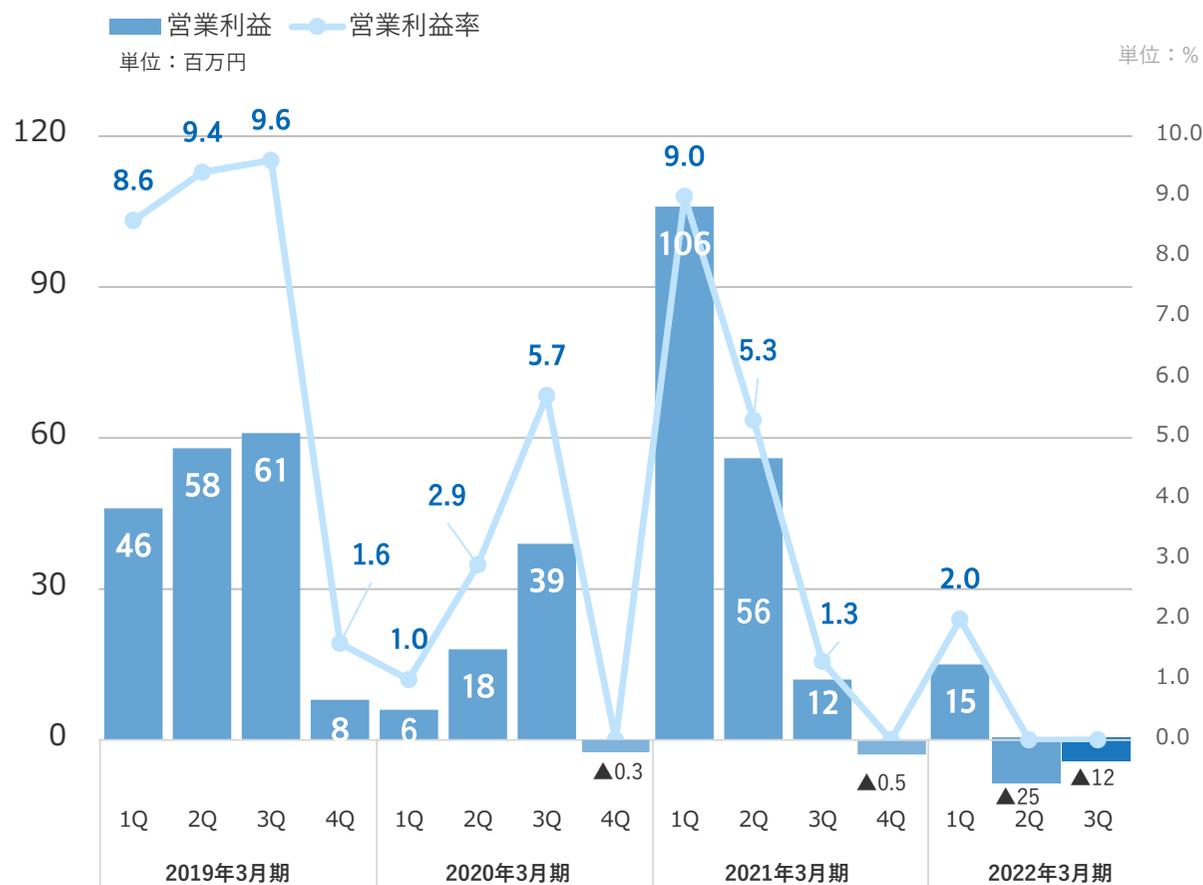
販売管理費



- 販売管理費・販売管理費率は2Qから横ばい
- 次Q以降では、moto社の減損効果により、のれんの償却費が減少
- 人件費率が、14期・11.2% → 15期・8.4% → 16期第3Q累計・12.9%と推移。14期と比べて+2.0ポイント増加

営業利益は回復傾向に 4Qに向けて堅実なプランを再策定中

営業利益



- 売上高の下方傾向は抑制され回復傾向へと転換するものの、moto社の売上高が当初予想より大幅に減退したため、営業利益の悪化をグループ全体で吸収しきれずに赤字での着地
- moto社の減損によって、グループ全体の事業戦略の組み直しが必要となる。4月上旬までに17期業績予想と合わせて新たな事業戦略を開示

連結精算表（FY2022 3Q累計）

単位：百万円	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	YoY増減率	通期業績予想 (修正後)	進捗率
売上高	3,178	2,027	-36.2%	2,651	76.5%
営業利益	175	△ 23	－%	-47	－%
営業利益率	5.5%	－%	－%	-1.5%	－%
経常利益	168	△ 27	－%	-47	－%
親会社株主に帰属する 当期純利益	107	△ 574	－%	-598	－%

- moto社は営業利益の急激な低下により減損
- 業績予想の大幅な未達のため、予想は下方修正
- moto社の投資回収計画を策定し、投資資金の回収を行う

3. 成長戦略及び取り組み事項

FY2022は、主力事業の市場対策・更なる拡大に注力

FY2022 重点方針

① 主力事業 LOGLY lift の安定事業化に向けた取り組み

- ① ポストcookie対策
- ② 広告クリーン化対策
- ③ 広告ポートフォリオ戦略
- ④ プラットフォームビジネス戦略

② 新規事業への取り組み

既存事業を活用しながら、3-5年後を見据えた新規事業へも取り組んでいく



FY2023以降の主力事業回復方針について

LOGLY lift

- ① ポストcookie対策
- ② 広告クリーン化対策
- ③ 広告ポートフォリオ戦略
- ④ プラットフォームビジネス戦略



来期業績予想と共に
新方針を開示予定

cookie規制への対策・新機能の継続的な拡充、提携

FY2022 3Q・cookie規制対策の取り組み

- LOGLY lift 以外のデータを活用したセグメント配信手段として、共通IDソリューション IM Universal Identifier (インティメート・マーチャ―社) との連携を開始
- 3rd party cookie の規制によって低下したターゲティングのカバレッジが向上
- コンテキストターゲティングの開発や1st party cookieを用いたCV計測を開発

個人情報保護の潮流への積極的な対応

- LOGLYでは、今後も個人情報保護を考慮した広告技術や研究開発に取り組み、コンテキストターゲティングによる広告配信の高精度化を目指していく

ポストCookieの広告配信手段

LOGLY lift
Juicer

×
インテント
キーワード

×
SYNAPSE
D-engine

×
IM-UID
※3rd Party Data

配信手段の追加により高精度な分析・配信が可能に

背景

ユーザープライバシー保護への関心の高まり



3rd party cookieを利用した
マーケティング (ターゲティング) が困難に

ポートフォリオの分散と広告素材の入れ替えによるデマンド取込み

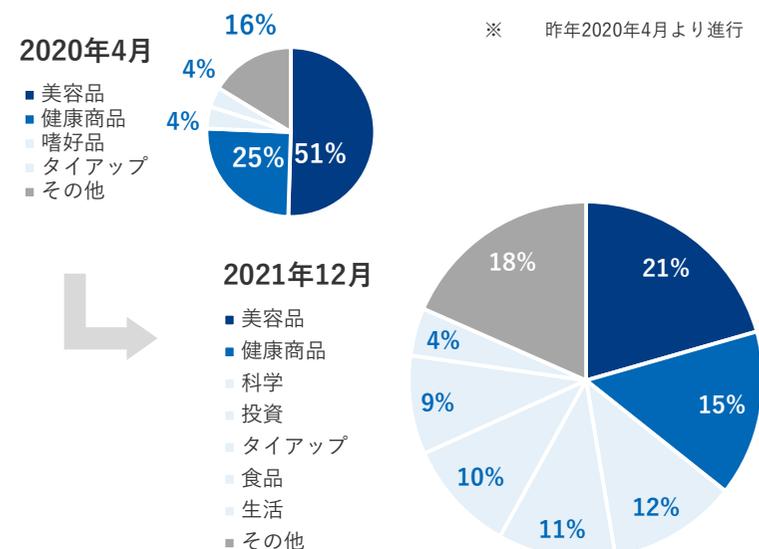
ポートフォリオの平準化が完了

- 薬機法対策であるポートフォリオの平準化（美容品、健康商品の分散）は完了
- 引き続き、ポートフォリオの分散とデマンド案件取り込みを推進

タイアップ広告案件の増加

- 媒体社の純広告であるタイアップ広告の需要が増加、同時に、タイアップ広告を媒体外のユーザーに見せる需要も高まる
- LOGLY lift でも媒体社の純広告を配信する「タイアップ広告案件」が増加

ポートフォリオ内訳の変化



タイアップ広告の配信



ヘッダービディングによる広告配信に対応

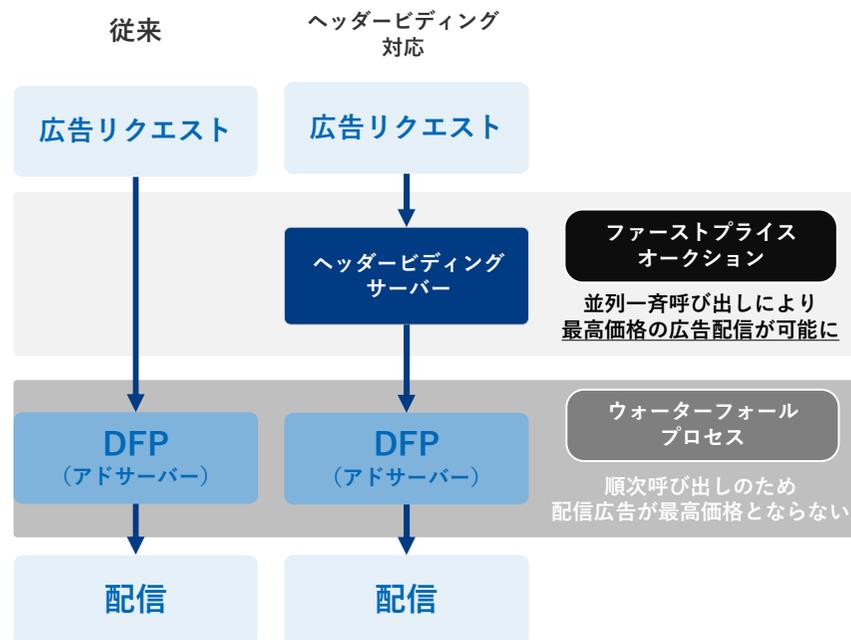
ヘッダービディングによる広告配信に対応

- ヘッダービディングによる広告配信に対応。媒体社の導入・連携により、収益性向上や表示速度の向上、配信管理の簡便化などが見込まれる

ヘッダービディングによる広告配信とは

- ヘッダービディングは、広告枠の自動買い付けの一手法。媒体の広告枠に対して最も高い単価の広告配信が可能となる
- アドサーバーへの呼び出し以前にヘッダービディングサーバーを呼び出すことにより、競売を同時に実行する

ヘッダービディングによる広告配信の方法



ヘッダービディングはアドサーバーよりも先に実行される。一斉に広告リクエストを送信することにより公平な価格競争が行われ、高価格の広告を配信することが可能になる

4. 新規事業の取り組み状況

契約数が順調に推移 機能追加のリニューアルも控える



デジタルマーケティング事業 × デジタルツール

ターゲットでWEBマーケティングチームのDX化支援
ノーコードウィジェット制作ツール

WEBマーケター向け 支援ツール

- 既存のお客様との営業活動の中で、「顧客体験向上のためのスピーディーなWEBコンテンツ改善」というニーズを発見
- 改善ニーズに応える多種多様な機能を搭載。デザイナー、エンジニアを介さずに改善可能なノーコードツールへリニューアル

主な機能

- 来訪企業毎のポップアップ出し分け
- 期待値の高い配信ターゲットの設定
- インタラクティブコンテンツの入稿、配信
- 配信コンテンツのコンバージョン貢献度の確認、最適化
- 閲覧数、アクション数別の数値測定 など

● 新機能「カスタマイズウィジェット」

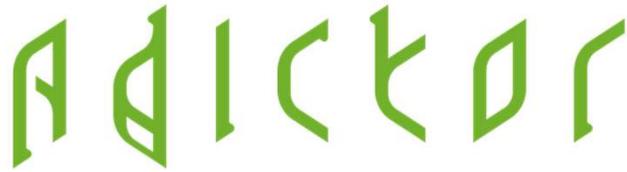
テキストや画像、ボタンをノーコードで編集・設置しポップアップバナーの自由な制作ができるウィジェット。複数ボタンを設置し分岐を作成することで、来訪ユーザーにとって適切なページへの導線設計も可能に。

● 新配信ロジック「広告パラメーター別ポップアップ配信」

広告パラメーター別にポップアップの出し分けが可能となる配信ロジック。来訪ユーザーの離脱防止やCVR改善が可能に。



登録者数・開催数は順調に推移、マネタイズへの転換が課題



eスポーツ事業×プラットフォーム

ユーザー起点の大会を支援するeスポーツ大会プラットフォーム

コミュニティ大会を支援することでユーザーにリーチする大会プラットフォーム型アドネットワーク

- 合同会社ライアットゲームズと共同で、コミュニティ主催者向けキャンペーン開催
- 芝刈り機メコロボ Call of Duty: Mobileのコミュニティ大会『WTA Call of Duty: Mobile Season 2』の開催
- ワイルドリフト豪華賞品付き公認大会「ワイリフ花金杯 Premium Friday」開催

多様なスポンサー・アライアンスによる事業拡大



Adictor 3カ年計画





データ分析を得意とするテクノロジー企業

動きの激しい広告業界において、必要な機能を高い水準で自社開発しています。市場から求められている機能をフレキシブルに開発し、最大の成果を追求します。

提供サービス

LOGLY lift

ネイティブ広告プラットフォーム

juicer

ユーザー分析DMP

PTIO

BtoBマーケティングツール

社名	ログリー株式会社
会社HP	https://corp.logly.co.jp/
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目16番3号 渋谷センタープレイス 2F
設立	2006年（平成18年）5月
経営陣	代表取締役社長 吉永 浩和 取締役CFO 岸本 雅久 取締役 監査等委員 橋本 訓幸（川崎ひかり法律事務所 弁護士） 取締役 監査等委員 笹部 秀樹（笹部秀樹公認会計士事務所） 取締役 監査等委員 藤岡 大祐（株式会社PKSHA Technology 取締役 監査等委員） 顧問弁護士 森 一生（代官山総合法律事務所）
資本金	4億753万円（2021年12月現在）
従業員数	63人（2021年12月現在）
事業内容	メディアテクノロジー事業 / アドテクノロジー事業 / データマーケティング事業
子会社	株式会社umme ログリー・インベストメント株式会社 moto株式会社
所属団体	一般社団法人 日本インタラクティブ広告協会（JIAA） 公益社団法人 日本広告審査機構（JARO）

業績予測の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

